

祝 新成人

く未来へ
大きくはばたけく

— 20年の期待 —

関川村長

平田大六



成人おめでとうございます。大人の仲間に入られたこと、まことに喜ばしく歓迎いたします。あなたの若い感性で村づくりに参画していただくことを村民は期待しています。

「成人」という立場は、すでにご理解されていることと思います。権利も得られますが、それに伴う行動が、あなたの責任である、ということでもあります。

皆さんの生まれた頃の関川村は、発足して40年になっていました。国道113号のバイパスに「道の

今年の成人式は、8月15日、村民会館大ホールで開催されます。該当者は1993年度生まれ（平成5年度）の67人。内訳は男性が29人、女性が38人です。
*個人情報保護の観点から、成人者名簿は掲載しませんのでご了承ください。

駅」が開かれ、高規格の新潟山形南部連絡道路建設の動きがおりました。いま、その一部の「鷹ノ巣道路」の工事が国によって進められています。これも「成人」を迎えたことになりました。発想から実現まで20年、これを皆さんの現在にあてはめてみます。そのことよって出生されて以来今日まで、ご家族によつて育まれてきた20年間の意味も、ご理解いただけたと思います。待たれた20年であったはずです。

関川村は発足して60周年を迎えました。60年間で村の人口は半減しました。この傾向は、全国の市町村がたどっていて、国の大きな「人口減少」となっています。働く場所、配偶者、子育て環境など現実面での問題点なども指摘いただき、村もこれに取り組んでいるところですが、そして、小さくてもキラリと光る村、皆さんがよその方々に自慢できる村、それを目指して努力しています。

皆さんの旺盛な行動力と新しい知恵が、この村づくりにつながることを期待しています。

菅 博貴さん（松平）



いつの間にか時が過ぎ、幼い頃から早く大人になりたいと思っていた私も成人式を迎えることとなりました。この日を迎えることができたのは多くの人の支えがあったからだと思います。特に両親にはたくさん迷惑をかけてきました。いつも自分のことを気にかけてくれ、時には厳しく、今まで育ててくれました。そんな両親に感謝の気持ちでいっぱいです。

今、私は新潟医療福祉大学で理学療法士になるため日々勉強に励んでいます。再来年には大学を卒業し、社会人の仲間入りをします。今私は学生という立場なので甘えているところが多くありますが、大人になったからはひとりの大人として自覚を持ち、今までお世話になった人たちに恩返しができるような日々を送っていききたいと思います。

二十歳の誓い

渡邊 ももさん（上関）



この度、成人という大きな節目を無事に迎えられましたことを誠に嬉しく思います。

早いもので一人暮らしを始めて2年以上が経ち、私は大学3年生になりました。不思議と実家を離れている今の方が親の存在の大きさを感じており、遠くから気にかけて、支えてくれていることに感謝しています。思えばこれまで多くの方々にお世話になり成長してきました。家族はも

ちろん、友人や先生、地域の方々など、皆さまの助けを受けて今の私があります。そして幸せなことに、現在も大学で素晴らしい友人や先輩後輩とともに充実した日々を送ることができています。これまで温かく見守ってくださったすべての方々に心から感謝するとともに、少しずつでも恩返しができるよう励んで参りたいと思います。

思い出に残る式にしたい 成人式実行委員会

7月15日、村民会館で成人式実行委員会が開かれ、式典スケジュールやアトラクションなどについて話し合いが行われました。

実行委員長を務める長谷川健太さん（下関・写真中央）は「一生に一度のことなので、自分たちらしく思い出に残る成人式にしたい」と話していました。



【実行委員】

長谷川健太さん 伊藤千桜里さん
五十嵐太陽さん 須貝 麻弥さん
長谷川みのりさん 菅 博貴さん